

(別記様式第3号)

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)甲第1217号	氏名	森 健一
論文審査担当者		主査教授	谷山 紘太郎
		副査教授	江口 勝美
		副査教授	片峰 茂
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 排尿機能を司る細胞間シグナル伝達の一つである、排尿筋におけるギャップ結合の機能に着目し、ラットの病態モデルを用いて、ギャップ結合およびギャップ結合の構成蛋白の重要性について明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 ラットの病態モデルを作製して、膀胱の重量、容量、内圧の変化についての生理学的解析、ギャップ結合の電子顕微鏡による組織学的解析およびギャップ結合構成蛋白であるコネキシン 43 の量的変化の生化学的解析を駆使したもので、研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 下部尿道狭窄後の時間経過とともに排尿筋機能の低下、ギャップ結合とギャップ結合蛋白の局在変化が起こることを見出し、ギャップ結合を介した細胞間シグナル伝達が排尿機能において重要であり、この破綻が下部尿道狭窄における排尿障害の原因の一つであることを示唆したもので、高く評価できる。</p> <p>以上のように本論文は、排尿障害患者の QOL 向上に向けた新しい治療法開発に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと。